

3年	学習指導要領 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)	ア 身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くこと。
-----------	-------------------------------------	---------------------------------

単元名	単元の目標 (◎=主目標)	時数	配分	学習活動	評価項目 (◎=重点評価項目) (関)=関心・意欲・態度 (知)=知識・理解 (技)=技能
1 身近にある文字を調べよう ①多様な文字 P82-83 用具：全般	◎身の回りの多様な文字に関心をもち。 ◎身の回りの文字がもつ役割について考える。	1	1	1 教科書を見て、文化祭の看板がどのような目的で、どのような用具・用材で書かれたか考える。 2 身の回りの文字が、それぞれどのような目的で、どのように工夫して書かれているか確認する。 3 身の回りの文字がもつ役割について考える。 4 自己評価・相互評価をする。	◎身の回りの多様な文字に関心を示そうとしている。(関) ◎身の回りの文字がもつ役割について理解している。(知)
2 効果的に書く ①ノートに書くときに(記録) P86-87 用具：硬筆	◎情報を分かりやすく整理して書く。 ◎既習事項を生かして、記録することにおける効果的な書き方を考える。	1	1	1 教科書のノート例を比べて、イが読みやすい理由について考える。 2 ノートを効果的に書くためのポイントを確認する。 3 自分のノートを確認し、効果的に書けているかどうか確認する。 4 既習事項を生かして、ノートを効果的に書く。 5 自己評価・相互評価をする。	◎情報を分かりやすく整理して書いている。(技) ◎既習事項を生かして、効果的に書くようとしている。(関)

<p>② 絵はがきや電子メールを出すときに (伝達) P88-89</p> <p>用具：コンピューター・硬筆</p>	<p>○絵はがきや電子メールの特徴を理解する。 ◎場面や相手に応じた文字の使い分けについて考える。</p>	<p>1</p>	<p>1</p>	<p>1 絵はがきと電子メールの特徴をそれぞれ調べる。 2 絵はがきと電子メール，それぞれのよさを踏まえ，どのような場面で使用するのが向いているのか，友達と話し合う。 3 教科書を見て，それぞれの絵はがきの書き方の違いを発見する。 4 絵はがきがなぜ書き分けられているのか，友達と話し合う。 5 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>○絵はがきや電子メールの特徴について理解している。(知) ◎場面や相手に応じた文字の使い分けについて話し合おうとしている。(関)</p>
<p>③ ポスターを作るときに (表現) P90-91</p> <p>用具：毛筆・硬筆・コンピューターなど</p>	<p>◎書き方や筆記具によって，受ける印象が異なることについて理解する。 ○伝えたい内容を表現するために，書き方や筆記具を工夫して書く。</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>1 教科書を見て，2枚のポスターから受ける印象の違いについて考える。 2 書き方の違うポスターから受ける印象の違いについて，友達と話し合う。 3 伝えたい内容を表現するためには，書き方や筆記具にどのような工夫が必要か考える。 4 伝えたいことに合わせて，ポスターの下書きを書く。 5 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>◎書き方や筆記具によって，受ける印象が異なることについて理解している。(知) ○伝えたい内容を表現するために，書き方や筆記具を工夫して書いている。(技) ◎書き方や筆記具を工夫して表現しようとしている。(関)</p>
<p>【生活に広げよう】 書き初めをしよう 巻末折り込み</p>	<p>◎毛筆書写の学習の成果を生かし，書き初めを書く。</p>	<p>2</p>	<p>1.5</p>	<p>1 書き初めの意義や心構えについて確かめる。 2 字形や筆使い，文字の大きさ，配列，名前の位置などに注意して，毛筆で「希望に輝く春」や「生命を尊ぶ」を書く。</p>	<p>◎毛筆書写の学習の成果を生かし，書き初めを書いている。(技)</p>

用具：毛筆（筆・小筆）			0.5	3 書いたものを持ち寄り, 自己評価・相互評価をする。	
3 生活を豊かにする文字 文化祭や卒業に向けて P92-97 用具：毛筆「栄光のかけ橋」・硬筆	◎これまでの学習を生かして, 生活に広がる題材を書く。 ○書き方の手順を理解する。 ◎学習したことを生活に広げる力をつける。	2	0.5	1 「文化祭から卒業まで」という設定で, 書写で学習したことが生かされる場面について確認する。	◎これまでの学習を生かして, 生活に広がる題材を書いている。(技) ○書き方の手順を理解している。(知) ◎学習したことを生活に広げようとしている。(関)
			1	2 既習事項を生かして, 文化祭に展示する作品を制作する。 3 志願理由書や入学願書を書く。	
			0.5	4 書いたものを持ち寄り, 自己評価・相互評価をする。 ※この教材は, 他教科や総合学習などと関連させて扱ってもよい。	
書いて味わおう 「おくのほそ道」 P98 用具：硬筆	◎3年の学習を生かして, 古典教材を硬筆で書く。 ○書くことで古典のよさを味わう。	1	0.1	1 国語の授業で学習した「おくのほそ道」を思い出す。	◎3年で学習したことを生かして硬筆で書いている。(技) ○書くことの楽しさを味わおうとしている。(関)
			0.7	2 「おくのほそ道」を硬筆で書く。	
			0.2	3 書いた感想を伝え合う。	